



## 国際会議への参加を通じたICTの発展への貢献

総務省総合通信基盤局電波部  
電波政策課国際周波数政策室長

市川 麻里 ICHIKAWA Mari

平成 7年 4月 郵政省採用  
同 通信政策局宇宙通信政策課  
平成 9年 7月 同 大臣官房企画課企画調査室  
平成 10年 6月 英国留学(シティズン大学大学院)  
平成 11年 7月 公正取引委員会事務局経済取引局取引部取引企画課取引方法係長  
平成 13年 7月 総務省情報通信政策局通信規格課標準企画係長  
平成 14年 8月 総務省消防庁防災課防災情報室課長補佐  
平成 16年 7月 独立行政法人国際協力機構社会開発部第二グループ情報通信チーム  
平成 18年 8月 総務省総合通信基盤局国際部国際協力課課長補佐  
平成 20年 7月 内閣官房  
平成 22年 7月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課国際周波数政策室課長補佐  
平成 24年 8月 同 情報通信国際戦略局国際政策課情報通信国際戦略交渉官  
平成 26年 8月 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター国際戦略グループ企画調整官  
平成 28年 7月 国立研究開発法人情報通信研究機構オープンイノベーション推進本部ソーシャルイノベーションユニット総合テストベッド研究開発推進センター統括  
平成 30年 7月 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構周波数管理室長  
令和 2年 8月 国立研究開発法人情報通信研究機構サイバーセキュリティ研究所統括  
令和 3年 7月 現職

### 様々な国際会議への参加

私は総務省に入省して以来、他機関に出向していた期間も含め勤務年数の半分近く、国際業務に従事してきましたが、総務省が参加すべきICTに関する国際会議は意外と多く、私も国際的なインターネット政策、ICT分野での国際協力等の様々な分野のICTに関する国際会議に参加する機会に恵まれました。

### 国際周波数政策室での業務

私が現在所属している国際周波数政策室では、無線通信に関する国際会議への対応、日本の衛星と海外の衛星との間で電波干渉を発生させないための国際調整等の業務を担当しております。

携帯電話をはじめ無線通信は、新たなシステム及びサービスが次々と導入され、あらゆる分野での利用が増大してきているため、日本のICTの発展の

ためにも、無線通信に関する国際会議において、日本の考えを確実に反映していくことが非常に重要となっています。

### 国際会議を通じて得られたこと

これまで数々の国際会議に参加できたことにより、毎回緊張の連続で、冷や汗をかくような経験もしたものの、会議場において、場を読みつつ適時に必要な発言をしたり、「味方作り」をするために、日本の考えを支持してくれそうな国の参加者と、議場外で意見交換をしていくうちに信頼関係を構築し、お互いに協力しつつ会議に対応したりすることも、何とかできるようになってきました。

自分の発言により、日本の考えを国際会議での議論や結果に反映できた時は、大きなやりがいと喜びを感じる瞬間です。

### 総務省で一緒に頑張りましょう

ICTはグローバルに展開していますので、総務省においては国際業務に携わる機会がかなりあります。英語を使用することで苦手意識を持たれてしまうこともあるのですが、海外出張に行くと、日本の素晴らしさを再発見できますし、国際会議での活動を通じて、日本のICTの発展に少しでも貢献ができていられるかもしれないと思うと、総務省で仕事をしていた本当によかったと実感いたします。

ぜひ皆様と総務省で一緒に働けることを楽しみにしています。



### 情報通信の世界が持つポテンシャル

このパンフレットを見ている皆さんは、どのような興味や関心を持って、総務省での仕事をイメージしているでしょうか。大学での専攻分野を活かした仕事がしたい、と考えている方もいれば、これまでとは全く異なる新たな分野で挑戦してみたい、と考えている方もいるかもしれません。

入省当時、私は後者の思いを持って総務省の門を叩きました。人々の生活をより便利にしていく情報通信の世界が持つポテンシャルの高さに惹かれ、新たな世界に挑戦しようと思った日のことを今でも覚えています。

技術系の職員として入省しましたが、最初は法律改正を担当し、その後の海外勤務では広報や文化交流なども担当しました。国内外を問わず多様な価値観やバックグラウンドを持つ同僚とともに幅広い経験をできたことは、自分自身にとって貴重な財産になっています。

### 人と人との信頼関係

総務省での仕事は、携帯電話やインターネットなど、人々の生活や経済活動に直接関わるものが多く、また、情報通信分野は新たなサービスや技術が次々に生まれ、私たちの仕事もそういった世の中の変化に合わせて柔軟に対応していくことが求められています。

職場の中だけの価値観で物事を考えると、政策の方向性を見誤ってしまうことにもなりかねません。私たちの仕事は、究極的には人々の生活をより豊かにすることが目標であり、そのためには経済活動を支える企業の方々との協力関係も欠かせません。

企業と省庁とはいっても、本質的には人と人との信頼関係の上に成り立つものであり、同志・仲間のような連帯感で困難な課題を乗り越えていくこともあります。苦労もある一方で、このような経験が自分自身の成長にも繋がっていると感じています。

### 仕事と家庭

どれほど忙しい職員でも、家に帰れば、子どもにとっては父親や母親です。子育てや介護など、誰もが家でのミッションを何かしら抱えています。省庁での取組はまだ発展途上かもしれませんが、私たちも限られた時間の中で最大限のパフォーマンスを発揮し、子育てなどをしながら普通に働ける職場となっていく必要があると感じています。

志ある皆さんとともに働くことを楽しみにしています。



休日に子どもと

## 人々の生活をより豊かに

総務省総合通信基盤局電気通信事業部  
データ通信課課長補佐

白壁 角崇 SHIRAKABE Sumitaka

平成 17年 4月 総務省採用  
同 総合通信基盤局電波部電波政策課  
平成 19年 7月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課国際係長  
平成 20年 7月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課移動体推進係長  
平成 22年 5月 在ハンガリー日本大使館二等書記官  
平成 25年 7月 総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課課長補佐  
平成 28年 7月 同 情報通信国際戦略局技術政策課課長補佐  
平成 29年 9月 同 国際戦略局技術政策課課長補佐  
平成 30年 8月 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター  
令和 2年 8月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課電波利用料企画室課長補佐  
令和 3年11月 現職

